

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成23年度第1回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成23年7月7日(木) 18:00~20:00		
場所	小野田保健センター		
出席者	厚狭郡医師会 小野田歯科医師会 厚狭歯科医師会 小野田薬剤師会 山陽小野田市ふるさとづくり協議会 山陽小野田市自治会連合会 山陽小野田市連合女性会 山陽小野田市食生活改善推進協議会 山口県看護協会小野田支部 山口県栄養士会宇部小野田支部 山口県歯科衛生士会小野田支部 山陽小野田市社会福祉協議会 (出席者数12人、欠席者数6人)	河村 芳高 (会長) 多原 康成 (委員) 嶋田 修士 (委員) 阿部 陽子 (委員) 杉本 保喜 (委員) 笠井 洋祐 (委員) 岡部 つや子 (委員) 半矢 幸子 (委員) 真鍋 美千代 (委員) 松岡 里絵 (委員) 村中 洋子 (委員) 小柳 朋治 (副会長)	
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター 厚東 邦明		
事務局	健康福祉部長 田所 栄 健康増進課技監 山根 愛子 成人保健係長 岡村 敦子 健康企画係主任技師 加藤 諭香江	健康増進課長 河合 久雄 健康増進課課長補佐 河野 静恵 健康企画係主任主事 河村 倫裕	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開式の辞 2. 辞令交付 3. 市長あいさつ 4. 自己紹介 5. 会長、副会長選出 6. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成23年度山陽小野田市保健事業の概要について (2) 第2回SOS健康フェスタについて (3) 山陽小野田市食育推進計画の策定について (4) その他 7. 閉式の辞 		
1. 開式の辞	(事務局)		
2. 辞令交付	市長より辞令交付		
3. 市長 あいさつ	別紙(市長あいさつ文)参照		
4. 自己紹介	各委員による自己紹介。		
5. 会長、 副会長選出	委員の互選により会長、副会長を選出。		

6. 議 事	(1) 平成23年度山陽小野田市保健事業の概要について
事務局	資料1 (山陽小野田市保健事業概要) 説明
委員	妊婦数の推移はどうか。
事務局	妊娠届出数で見ると、近年は微増である。
委員	乳幼児健診の受診状況はどうか。
事務局	受診率は90%前後。未受診者には通知を出している。保育園から情報をもらったり、訪問もする。
委員	未受診者を保健師が追いかける事は大切。
委員	以前は3歳児健診だったが、いつから3歳6か月児健診になったのか。
事務局	平成21年度からで、ランドルト環による視力検査が確実に出来る等の理由による。他市でも3歳6か月児健診が増えている。
委員	う歯罹患者率には出ないが、虫歯がある子と、ない子の差が激しい。虫歯は家庭環境の影響が大きい。
事務局	健診時に歯科衛生士による実技指導が行われている。
委員	不妊治療のフォローは行っているのか。
事務局	妊娠届の時に確認等をしている。
委員	健康手帳の交付状況はどうか。
事務局	平成20年度の医療制度改革により、75歳以上に送付していたものが40歳以上の希望者への交付となった。交付数は減少しているが、機会をみて交付に努めている。
委員	スマイル教室とは何か。
事務局	若い時期から認知症予防の生活習慣を身につけるために、食事や運動などの正しい知識と認知症への理解を学んでもらう教室。平成21年度と22年度の2年間行った。今年は「骨粗しょう症セミナー」を予定している。
委員	認知症予防などは出前講座のメニューに入っていないが、講座に出向いてもらえるのか。
事務局	要望があれば出向く。地区健康教育など、実際に出向いて講座を行っている。
委員	がん検診の受診率は上がっているようだが。
事務局	子宮がん、乳がん検診は無料クーポンで受診率が上がった。大腸がんにおいても国の様式が示され次第、クーポン券を配布予定。
委員	広報で見たが、子宮頸がん予防ワクチンとは何か。
事務局	子宮頸がんの原因となるウイルスの感染を防ぐワクチンで、中学1年生から高校1年生が対象。効果は高いが絶対に防げるわけではないので、ワクチンと検診の両輪が大切。
委員	肝炎ウイルス検診の受診者数が少ないのは何故か。
事務局	県が無料で検査をしている。そちらの数は上がっているようだ。
委員	女性の健康診査の有所見率が50%近くある。若い人は健康と思いがちだが、もっと受診率を上げた方がいい。
委員	訪問指導では保健師が危険な場面もあると思うが、トラブルはないのか。

事務局	民生委員や福祉委員が同行する事もある。顔なじみになれば助言等も言えるようになる。
会長	食推は活発に活動されているようだが。
委員	今年は食生活改善推進員の養成講座がある。定年はないが推進員の数は徐々に減っている。若い人にもボランティアの楽しさを伝えたい。
	(2) 第2回SOS健康フェスタについて
事務局	資料1 (山陽小野田市保健事業概要) 18 ページ説明 昨年、第1回のフェスタを開催した。平成23年11月20日(日)に、第2回を開催予定。SOS健康づくり計画の推進主体である、かたつむりで行こう会と市が主催となり、市が主催の食育フェスティバルと共催の予定。昨年は市民館とサンパークの2会場で行ったが、今年は市民館のみに集中したい。
会長	主催のかたつむりで行こう会はボランティアの会。各団体の協力が必要。意見を持ち寄っていただきたい。
委員	健康づくり推進協議会は、昨年はフェスタにどのように関わったのか。
事務局	各団体がブースを開いたり、フェスタのPRを行った。
委員	会場が市民館のみで、駐車場は足りるのか。
事務局	昨年は参加者が分散したとの反省もある。駐車場については隣の体育館なども検討したい。
	(3) 山陽小野田市食育推進計画の策定について
事務局	資料1 (山陽小野田市保健事業概要) 16 ページ、および資料2 (ねたろう「食育」プラン概要版) 説明 昨年、市の食育推進計画である、ねたろう「食育」プランが策定され、今年6月には概要版を全戸配布した。また食育推進地域連絡会やねたろう食育ネットワークの立ち上げなど、関係団体との連携も図りたい。
委員	ねたろう食育博士養成講座の参加費や参加状況はどうなっているか。
事務局	ほぼ定員となっている。調理実習がある時(計2回)のみ、食材料費として400円もらう。保健センターがメイン会場だが「花の海」等で生産者の意見も聞く予定。子供や親も巻き込んで食育を推進したい。
委員	教育委員会より学校給食センター化案が出ているが、食育や地産地消が実践出来るのか疑問。「食育」プランは良く出来ていると思うが教育委員会とも話をするべきではないか。
事務局	「食育」プラン策定の段階から教育委員会も参加している。食育は多くの部署が関係してくる。横の連携もしっかりとれる体制をつくり推進している。
オブザーバ	国の食育推進基本計画は第2次に移行し、県も進めている。ねたろう「食育」プランは他と比べてもユニークな計画だと思う。これからは周知から実践の段階であり、しっかり推進してほしい。
	(4) その他
事務局	昨年のSOS健康フェスタでお披露目をした市民健康体操の名称が「SOSおきよう体操」に決定した。
委員	まだ認知度が低いので、名称だけでなく市民健康体操という前置きも付

<p>委員 事務局</p> <p>7. 閉式の辞</p>	<p>けて市の体操として広めてほしい。 普及にはDVDを作成して配布するのが有効ではないか。 かたつむりで行こう会のスポーツ部会や情報部会と一緒に、体操の普及に努めたい。 (事務局)</p> <p>第2回開催予定 日付 平成23年10月20日(木) 時間 18:00～ 場所 小野田保健センター</p>
----------------------------------	---